



# ひよこぐみだより 11月号

肌に触れる風もだんだんと冷たくなり、晩秋の気配が感じられるようになりました。子ども達は、園庭の築山を登ったり、段ボールで出来た電車を友達と一緒に引っ張って走らせたりしながら、体を動かして遊んでいます。



## ドングリ見つけた!

手作りの散歩バックを見つけると「さんぼいきたいー!」「はっぱあるかなー?」と話していました。散歩バックを肩にかけて津田公園へ行くと、園周辺では見かけない小さな丸いドングリがたくさん転がっていました。「あ!ドングリだ!」「こっちにもあるよ!」と言いながら個々に気に入ったドングリを拾っていると、「これ小さいね」「みてー!帽子かぶってるよー」と色々な形のドングリを見つけていました。



散歩バックにドングリを入れると「コトン♪」と音が鳴ります。子ども達は音に気が付き「コトンって聞こえたー!」「なんか聞こえた!」と話していました。Aさんは、黙々と散歩バックにドングリを入れた後、散歩バックのふたを閉め、思いっきり振り始めました。「シャカシャカ鳴るね」と友達同士で話しながら、いろいろな音を楽しんでいました。



## ～ 気温に合わせた服装選び ～

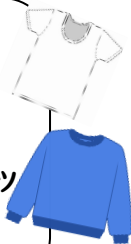
子ども達は気温が低い日でも元気に走り回り、良く動くので汗をかいていることがあります。重ね着しやすい服装、肌着は綿素材のもの、軽くて動きやすいもの、大人より1枚少なめがちょうどいいといわれています。

### < 一日の「最高気温」を目安に >

● 12～14度 ●

「薄手の冬服」

半そで下着やTシャツ  
+厚手のロングTシャツ  
or トレーナー



● 15～17度 ●

「秋服」

ノースリーブ下着  
+厚手のロングTシャツ  
or 薄手トレーナー



● 18～20度 ●

「薄手の秋服」

ノースリーブ下着  
+ロングTシャツ  
Or カットソー



● 21～22度 ●

「夏服に上着」

ノースリーブ下着+半そでTシャツ  
+薄手のジャンパーやカットソーで調節を



子どもが汗をかいたり、寒い日でも薄着をしたりすることが大切なのは事実ですが、気温の変化の影響を受けやすく、体調を崩しやすいのも事実です。昼間と朝夕の気温差が大きい季節なので、調整しやすい服装を心がけましょう。また、上着のような、脱いだり着たりしやすい服もお勧めです。